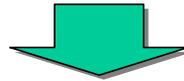
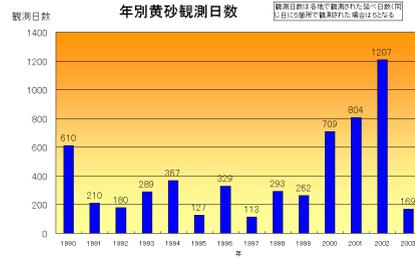


黄砂に関する気象情報の提供

背景と現状

近年、大陸の砂漠化に伴い、**黄砂の規模および飛来件数が増加**。生活、交通機関に支障も。特に**中国、韓国**では深刻な影響。

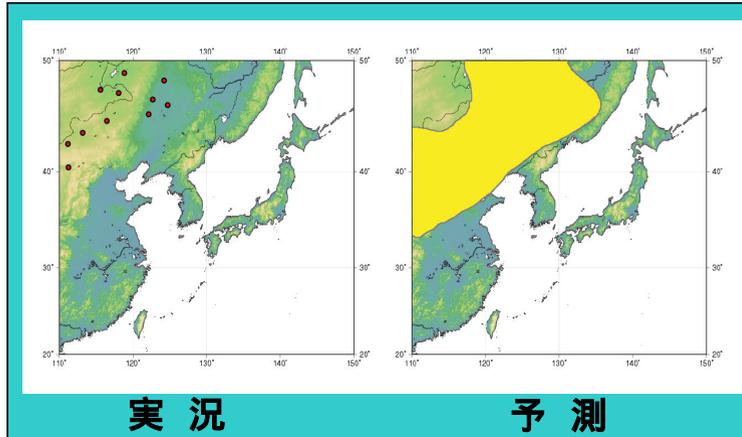
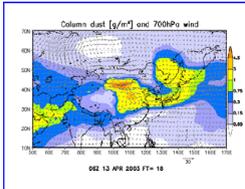
日中韓3カ国環境大臣会合における黄砂への取り組みの重要性に対する共通認識



各種観測データ
(気象庁)

黄砂のモニタリング
(環境省)

予測技術
(我が国の先進的な数値予報モデルの活用)



- : 黄砂が観測された地点
- : 黄砂の拡がり予測される地域

情報の発表

(平成16年1月～)

(国民、関係行政機関などへ)

効果

交通の安全確保、適切な運行の支援。
健康被害など、国民生活への影響の軽減。

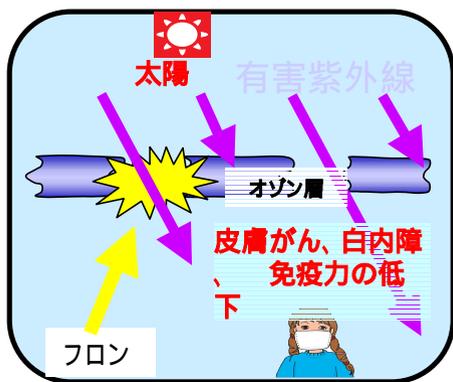
有害紫外線予測情報の提供体制の構築

現状

- ・フロン等によるオゾン層破壊に伴う**有害紫外線の増加**
- ・南北両半球の中緯度において、**依然としてオゾン層は破壊**されている
- ・オゾン層破壊が進行する以前の状況に**戻るのは2050年**

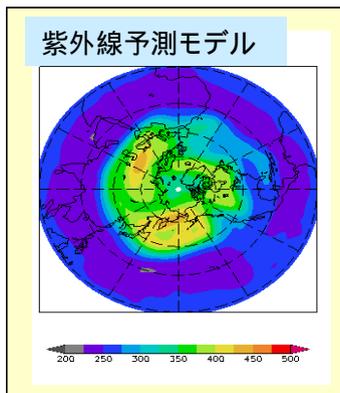
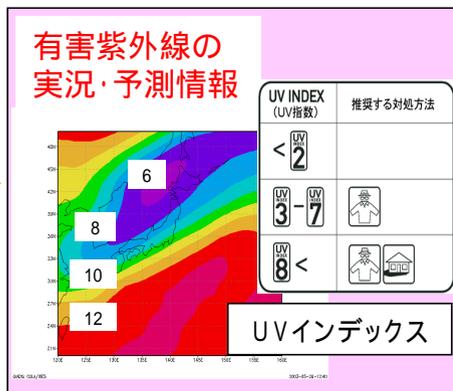
有害紫外線による

- ・健康被害
- ・生態系への影響
- ・建材の劣化 などが懸念



施策

- ・有害紫外線の観測強化
- ・観測データのリアルタイム収集



効果

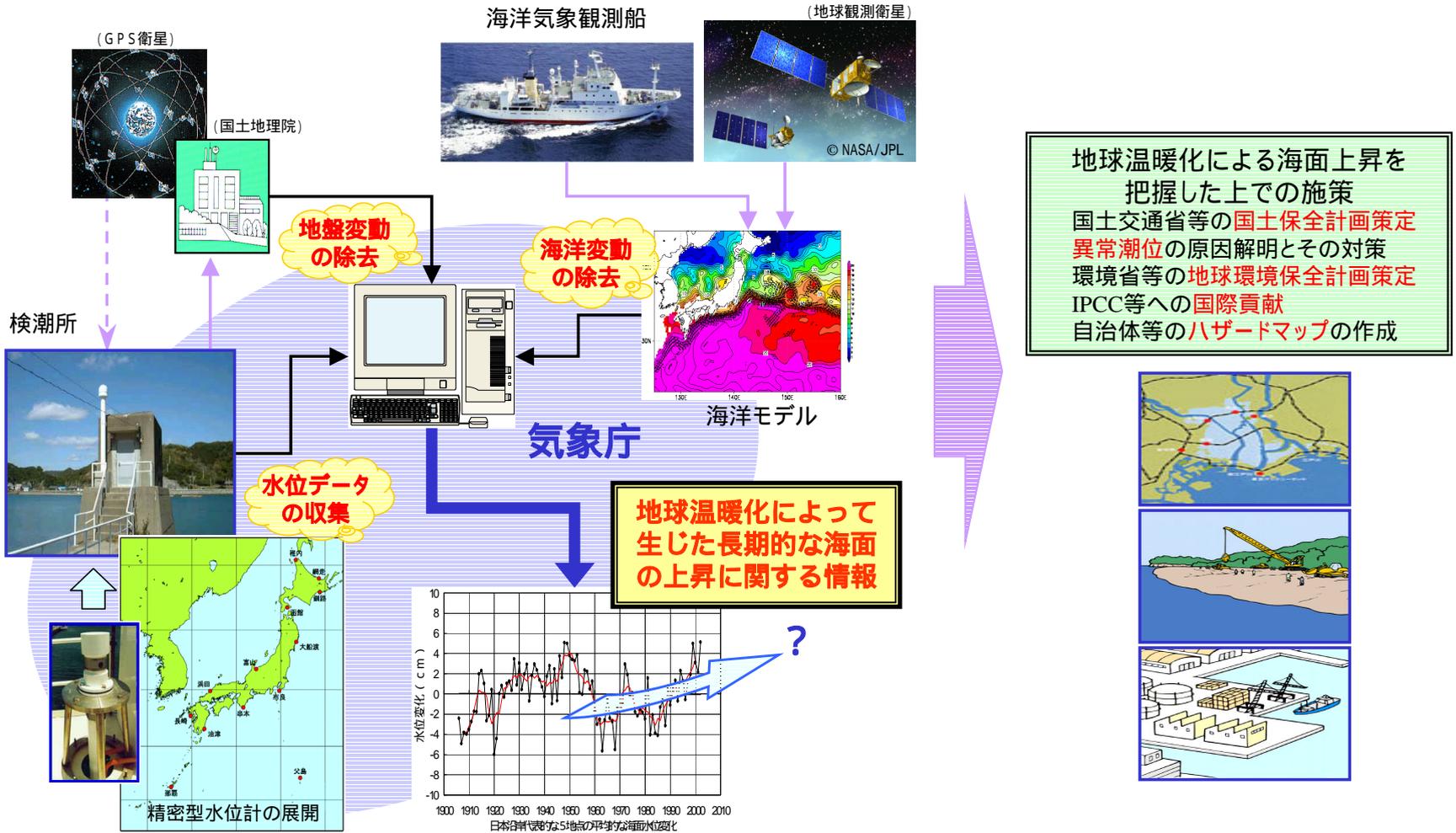
民間気象会社
(ニーズにあわせて加工)

国民

関係省庁

- ・国民の**適切な有害紫外線対策**
(外出時間の調整、衣服の選択、帽子やサングラスの着用など)
- ・有害紫外線の生態系への影響評価、建材(プラスチックやゴム等)の選定
- ・高精度観測データの国際交換による国際貢献

地球温暖化に伴う海面上昇監視情報の提供



(説明) 地球温暖化に伴う海面の上昇は、海岸を浸食し、高潮、異常潮位などの沿岸災害を激化させるおそれ大きいことから、国土保全、環境保全等の適切な施策を検討するうえで、長期的な海面上昇の把握が必要である。気象庁は、平成15年度から、全国13か所の検潮所に精密型水位計を整備して高精度の海面水位観測を行うとともに、国土地理院との連携による地盤変動データや、海洋気象観測船等の海洋観測データから得られる海洋変動データ等を活用することにより、地球温暖化に伴う長期的な海面上昇に関する情報の提供を開始した。